

開架資料紹介 横浜市瓦斯局事務報告書

闇夜を照らすガス灯の光は、文明開化の象徴である。明治五（一八七二）年九月二十九日、横浜に日本で初めてのガス灯がともった。

ガス事業を推進したのは、高島嘉右衛門ら横浜商人であったが、いくつかの段階をへて、横浜市誕生後の明治二五（一八九二）年に市営事業となった。一方、点火が横浜より二年遅れた東京のガス事業の公営化は早く、明治九（一八七六）年に東京会議所から東京府へ移管されている。さらに東京は民営化も早く、明治一八（一八八五）年に東京瓦斯会社に引き渡される。市営事業として昭和一九（一九四四）年まで半世紀以上もつづいた横浜市瓦斯局の事例は希有であった。

『横浜市瓦斯局事務報告書』は市営ガス事業の毎年の報告書である。行政事務一般の『横浜市事務報告書』については、本誌一七号で紹介されているが、すくなくとも大正期には瓦斯・水道・電気各局の事務報告書が別冊で発行されている。当室では、大正一五年度から昭和一七年度（欠あり）分の複製が配架資料で閲覧できる。

電灯が普及した当時、ガスは「煮物」と「かまど」、すなわち台所での利用が主である。昭和三（一九二八）年十一月末段階の火口数は、

灯火	一、九〇九
煮物	四四、〇九一
かまど	一〇、〇四六
暖炉	一、三三〇
湯沸かし	二九〇
機関	三
合計	五七、六六九

であり、現在の中区全域と西区・神奈川区の一部に供給されていた。昭和期の横浜市は四回の合併をかさね、昭和一四（一九三九）年に現在の市域が確定するが、その間の需用火口数は左のように急拡大する。

昭和元年	二三、二三四
昭和六年	八〇、九〇九
昭和九年	一〇二、四八〇
昭和一三年	一三五、〇二六
昭和一七年	一四二、〇三六

昭和一〇年代半ばに綱島営業所を核とする地域が供給地に加わる。横浜市瓦斯局は、コンロ、ストーブなどのガス器具の販売・修理にあたる一方で、料理・菓子の作り方講習会、アイロン掛け方講習会などを実施してガスの家庭への普及につとめた。

供給の急拡大に対してガスの製造設備が脆弱な瓦斯局は、昭和一七年には東京瓦斯からガスの供給を受ける。そして、瓦斯局は一九年「横浜瓦斯株式会社」への民営移行ののち、二〇年に東京瓦斯に合併された。『瓦斯局事務報告書』は希有な公営ガス事業の、その後半の経緯をうかがうことができる貴重な資料である。（平野正裕）

《市史資料室たより》

【平成27年度横浜市史資料室展示会】

「戦後70年 戦争を知る、伝える
—横浜の戦争と戦後—



会期：7月18日(土)～9月23日(水)
時間：午前9時30分～午後5時
休館日：7月21日(火)、8月17日(月)
◎入場無料

場所：横浜市西区老松町1番地 横浜中央図書館地下1階ホール前ホワイエおよび横浜市史資料室展示コーナー

内容：戦争の実際をわかりやすく伝えるため、写真だけでなく、体験記、絵の他、日記や書簡など当時のさまざまな記録を合わせて紹介し、戦争の現実を浮き彫りにします。

*横浜市史資料室展示コーナー
横浜市ふるさと歴史財団8施設連携展示
わがまち横浜再発見「ヨコハマ3万年の交流」
関連展示

「戦争と戦後をめぐる日本とアメリカ」

戦前、戦後の日米関係を資料とパネルで紹介します。

【展示関連シンポジウム】 《事前申込制》

「空襲の記録—証言・写真・米軍資料」

日時：8月29日(土)
午後1時～4時45分(開場：12時30分)
会場：横浜中央図書館地下1階 ホール
第一部 問題提起と報告
問題提起：羽田博昭(横浜市史資料室主任調査研究員) 報告：山辺昌彦(東京大空襲・戦災資料センター学芸員) / 手塚尚(横浜の空襲を記録する会会員)
第二部 パネルディスカッション
募集：160人

(応募者多数の場合は抽選となります。)

◎参加費無料
申込方法：往復はがきに住所・氏名・電話番号を明記の上、以下の宛先にお送り下さい。はがき1枚につき1名様のみのお申し込みとさせていただきます。
送付先：〒220-0032
横浜市西区老松町1
横浜中央図書館地下1階
横浜市史資料室 シンポジウム係
問合せ先：045-251-3260
(横浜市史資料室)
締切り：8月20日(木)必着

【寄贈資料】

1 菊地 卓様	占領期横浜の画像データ	128点
2 有馬 榮様	絵はがき「満州国の景勝地」他	4件
3 根本政視様	横浜関係書籍ほか	10件
4 白石 緑様	小林直明資料 追加	6件
5 白石 緑様	白石緑家資料 追加	7件
6 篠田操子様	篠田登美江資料	264件
7 篠原あや子様	昭和戦前・戦後の写真アルバム	6件
8 田中常義様	金沢湾埋立関係資料	604件
9 飯野健造様	関東大震災写真	5点
10 丸田貴子様	船員手帳・メモ帳	2件
11 又木トシ様	又木誠八郎資料	223件
12 五十嵐高様	「横浜空襲」目撃記録	1件
13 太田隆平様	関東大震災関係写真	22点
14 布川岳人様	新日本写真大観ほか	2件

【横浜市史資料室 最新刊行物のご案内】

・『横浜市史資料室 紀要』第5号(税込500円)
・『震災復興と大横浜の時代』(税込500円)
上記刊行物は、市民情報センター(横浜市役所1階)のほか、横浜開港資料館、横浜都市発展記念館、横浜市歴史博物館、横浜中央図書館ふれあいショップ「のげやま」で販売しています。

◇ 休室日のご案内 ◇

7月21日(火)、8月17日(月)、
9月24日(木)、10月13日(火)、
11月24日(火)